

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和5年6月21日
第7号



校長室前に、七夕用に笹が飾られています。教職員や子どもたちが願いを書いて飾っています。「ともだちがいっぱいできますように」「テストでいい点数がとれますように」「心が広い人になれますように」「犬が長生きしますように」「この世界が平和になりますように」「プールがいっぱいできますように」などなど、毎日願い事が増えています。みんなの願いが叶いますように！

6月12日登校指導より

・雨が降っていたので、一列になって歩いていた。低学年の子が道路の段差につまづいて転んでしまったが、班長さんがすぐに声をかけていた。挨拶もきちんとしてくれた。
・雨が降っているのに傘を差さない子がいた。列から出る子もいたので、隣で一緒に歩く必要があった。挨拶はほとんどの子どもたちがしてくれました。
・雨の月曜日でしたが、1回目の登校指導より挨拶してくれる子どもたちが多くなりました。低学年の子どもたちは特に目を見てにこにこ挨拶してくれます。
・雨が降っていたからか、下を向きながら歩いている子が多かった。歩いている時に二列になってしまう班がいた。傘と傘がぶつかって危ない時があった。
・挨拶をした時、元気よく挨拶の返事が返ってきたり、自分から大きな声で挨拶してくれる子たちを見て、心が晴れやかな気持ちになった。挨拶って素晴らしい！と子どもたちを通じて改めて実感させてもらいました！
・月曜日の雨の朝だったせいか、みんな少し元気がなかった。でも、班長さんを見習って低学年の子も声は小さいが、挨拶できるようになった。班長さんがしっかりとお手本になっていると感じました。

※1：忘れ物を取りに帰った子がいました。

※2：小学校前にも関わらず、スピードの出ている車が出て焦った。子どもたちが車が停まっているのを確認せずに横断歩道を渡るので怖いと感じた。

※1については、「忘れ物を取りに帰らない」ことを再度指導しています。おうちでもお話をさせていただけるとありがたいです。

※2については、見守り会や立ってくださるPTAの方々に頼っているからかもしれません。立ってくださる方がいてもいなくても、しっかり自分の目で見て、安全を確認するようこれからも指導していきます。

6月19日 いのちの大切さを学ぶ教室

四日市西地区交通安全協会桜支部主催で、「いのちの言葉プロジェクト」の方々による人形劇「しあわせの種」を、5限目に5・6年生が鑑賞しました。



【子どもたちの感想】

・私の命は・お母さんたちがくれた大切な命で自分一人の命じゃないと思いました。私や友達家族いろんな人がなくなっちゃうことで、いろんな人が悲しくなっちゃうということを学びました。自分や友達、家族

いろんな人の命は大事でかけがえのない大切なものだと思います。

・とても大切にいろいろな種をまいているんだなと思った。大事な命だと思った。みんなにチクチク言葉を使わない。たくさんの方フワフワ言葉をみんなにつかおう。ぼくの命はとても大切でみんなが心配しない人になろうと思った。たくさんの人を助けたいと思った。みんなの命を大切にしようと思った。

ほかにもたくさんの感想がありました。詳しくは桜台小学校HPに掲載しています。

